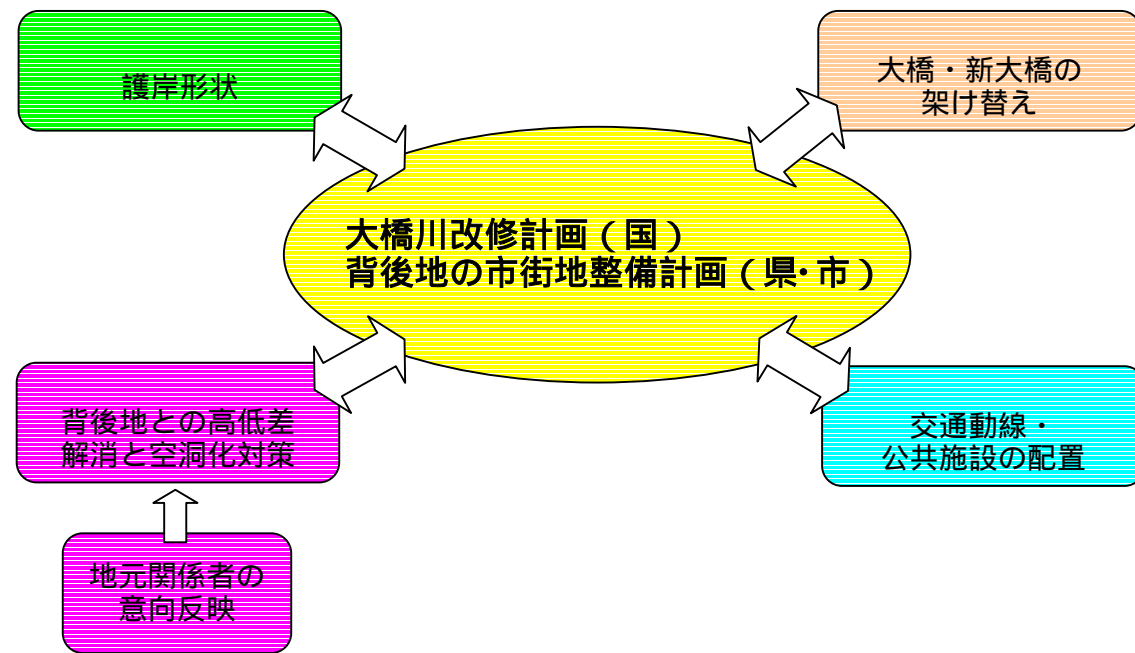


「大橋川改修計画」及び「沿川背後地の市街地整備計画」の策定について

複雑に絡み合う前提条件



上記の4項目が相互に関連しながら計画策定の前提条件となっているため、計画策定にはこの複雑に絡み合う問題を解決することが必要。

各項目の骨格となる事項

護岸形状

- ・ 土堤防
- ・ 石積み or ブロック積み堤防
- ・ パラペットの有無(高さ0.5~1.0m)
- ・ 兼用道路の有無

大橋・新大橋の架け替え

- ・ 橋梁諸元(形式、径間)
- ・ 桁厚
- ・ 施工計画(仮設橋含む)
- ・ デザイン(高欄~上部工~下部工)

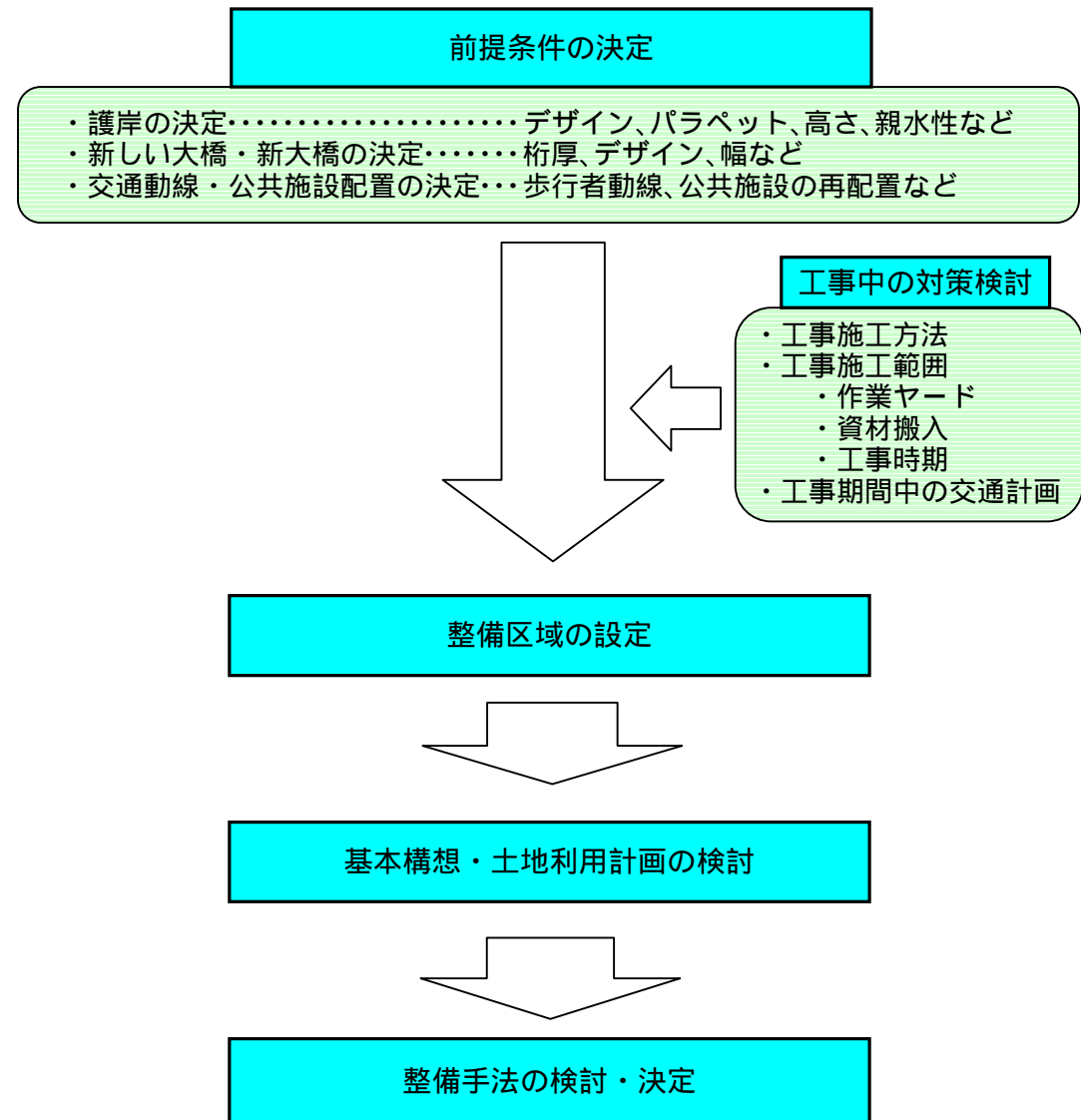
交通動線・公共施設の配置

- ・ 歩行者を含む川岸の交通動線
- ・ 公共施設(港湾施設、源助公園、たまり場、市有地など)の配置

背後地の高低差解消と空洞化対策

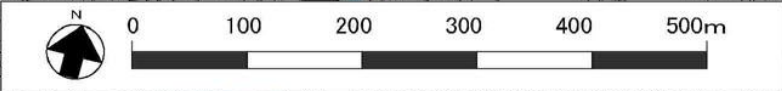
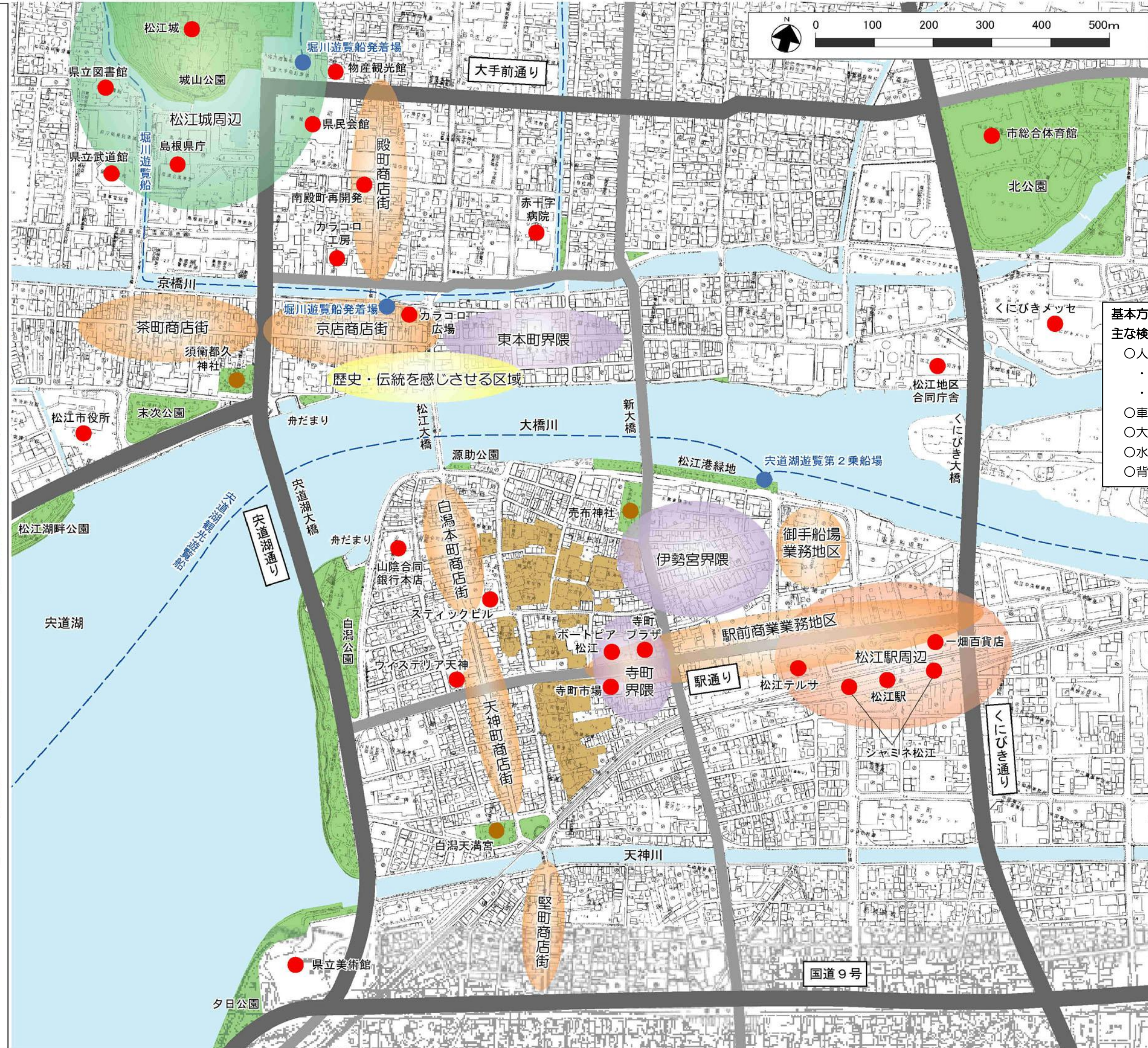
- ・ 検討範囲
 - 護岸形状や橋詰めの高さに伴う影響範囲
- ・ 高低差解消対策
 - 嵩上げ、前面道路との高さ、取付け道の勾配
- ・ 中心市街地空洞化対策
 - 橋南、橋北

課題の解決への道



整備課題をクリアする前提条件案を複数作成し、行政内部・委員会・地元関係者及び市民意見の合意が図れるものについてさらに詳細検討を進める。

◆上流部における現況図



- 凡例
- : 内環状道路
 - : 特徴的な土地利用
 - : 寺町地区の寺社



基本方針の具体像（上流部）における主な検討事項

- 人の動線
 - ・にぎわいの動線
 - ・水辺の動線
- 車の動線と歩行者優先エリア
- 大橋通りの整備イメージ
- 水上交通拠点
- 背後地の土地利用イメージ

